

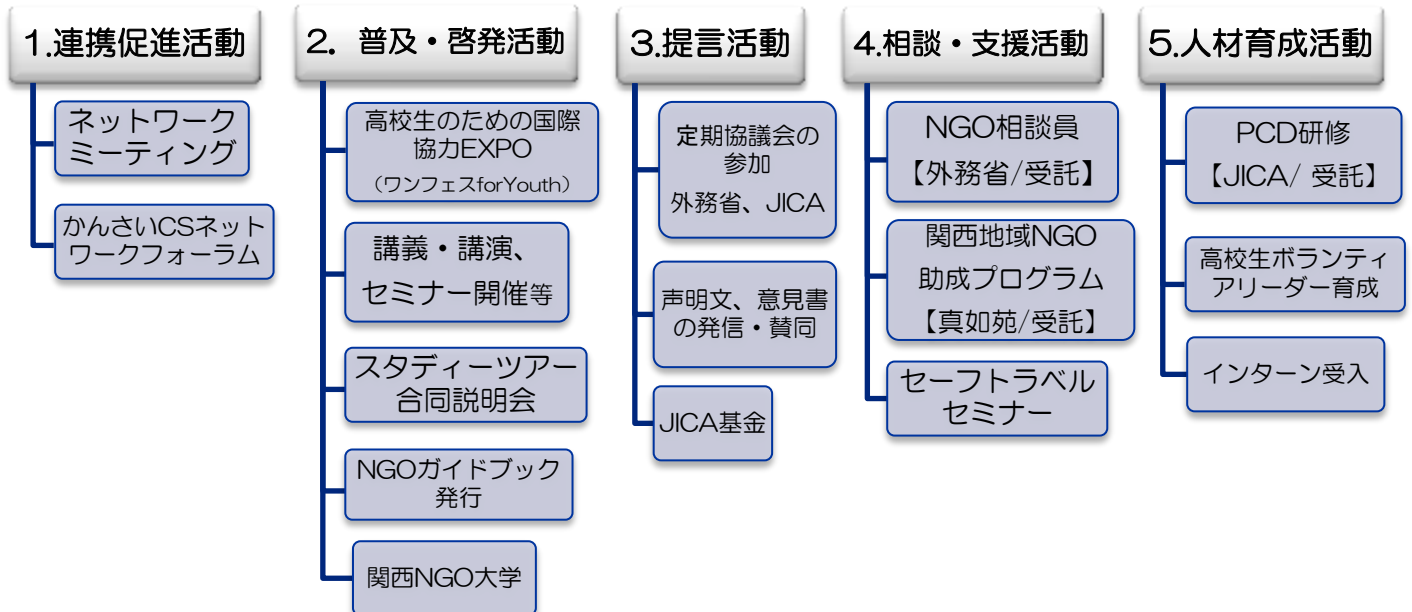
(特活) 関西 NGO 協議会 2016 年度活動報告

(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

2016 年度は、自主事業として 2014 年度より開催している、関西地域における若い世代の育成と国際協力 NGO や国際協力機関とのネットワークの構築を目的とした『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生のための国際協力 EXPO』、中小を含む企業と関西地域の NGO の連携促進を目的とした『かんさい CS ネットワークフォーラム』を継続して実施した。また、当会の事業内容・組織体制を見直し、理事構成を再編して事務局業務をサポート・強化するための常任理事会を組織した。

受託事業のみに頼る組織構造から自主事業拡大へと移行する過程で、僅かずつであるものの自主財源の増加につながっている。恒常的なマンパワー・資金不足の課題は残るが、魅力ある自主事業を展開し自主財源比率を上げることで、組織基盤を強化し、関西地域の NGO の発展、国際協力の推進に貢献することを目指す。

関西 NGO 協議会 5 本の活動の柱	
1	NGO 及び、他セクターとの連携促進活動
2	国際協力に関する知識の普及・啓発活動
3	国際協力を促進するための提言活動
4	NGO 活動に関する相談・支援活動
5	NGO 活動に関する人材育成活動



1. NGO 及び、他セクターとの連携促進活動

事業名(継続)	会員・加盟団体のためのネットワークミーティング
担当	事務局/高橋
開催日と開催場所	2016年5月21日(土) 13:30~15:00 / 会場:大阪聖パウロ教会 2階
テーマ	『関西 NGO 協議会の果たすべき役割、あるべき姿を共有する』
参加者数	参加者: 14名
講師	柏木 宏(大阪市立大学大学院創造都市研究科教授)
	2014 年度策定した「再生計画 2020 年」の事業計画に基づいて、二つの新規事業を展開しはじめました。今までの関西 NGO 協議会が果たしてきた役割を振り返るとともに、期待される新たな役割、存在意義について、ワークショップ形式で加盟団体の活動との関連や考えを共有しました。

事業名(継続)	第3・4回かんさいCSネットワークフォーラム
担当	理事会: 柏木 事務局: 高橋、岡田(2016年度インターン) 協力: 松岡秀紀氏(CSネットワークフォーラム運営委員)
開催日	第3回 2016年6月21日(金) 14:00~17:30 第4回 2017年3月29日(水) 13:00~17:00
開催場所	グロービス経営大学院大阪校
共催・協力	■第3回 協力: グロービス経営大学院大阪校、(株)カエタル、OIKOLABO、office musubime 後援: 独立行政法人国際協力機構 (JICA)、大阪商工会議所 一般社団法人大阪青年会議所、フジサンケイビジネスアイ・日本工業新聞 ■第4回 共催: JICA 関西 協力: グロービス経営大学院大阪校 後援: 大阪商工会議所、フジサンケイビジネスアイ・日本工業新聞
受益者	関西地域の中小・中堅企業、NGO/NPO、行政、教育機関 第3回: 42名 第4回: 46名
	再生計画に基づき新規事業として 2014 年度から継続して開催している。2016 年度は、新大阪駅直結の好立地条件にあるグロービス経営大学院で開催が実現した。また、本年度は JICA 基金・JICA 分担金、連合・愛のキャンパ(地域助成)を活用して開催。関西地域の NGO と企業(とくに中小企業)双方が出会える場として、継続的な開催、より多くの企業の参加といった要望が寄せられている。今後は、大阪府中小企業家同友会などとの連携も視野に入れ、関西地域における NGO と企業の連携を促進するための出会いの場を積極的に提供する。 【フォーラムの概要】 ■第3回 2016年6月21日(火) 14:00~17:30 『企業ができる世界への貢献 ~新しい協働・共創を考える~』 講師: 大野 容子氏/(公社)セーブ・ザ・チルドレン ジャパン

	<p>分科会講師：加藤 良太氏（OIKOLABO 代表/同志社大学大学院嘱託講師） / 村尾 佳子氏（グロービス経営大学院経営研究科副研究科長） / 熱田 典子氏（（公社）アジア協会アジア友の会副事務局長） / 柏木 宏氏（大阪市立大学教授） / 上野 智彦氏（（特活）CODE 海外災害援助市民センター職員）</p> <p>■第4回 2017年3月29日（水）13：00～17：00 『SDGs とソーシャルブランディング ～地球規模の課題と企業のつながり方を考える～』</p> <p>講師：森 摂氏（株オルタナ代表取締役） 事例紹介：佐藤 正隆氏（リタワークス株代表取締役） 「SOCIAL SHIP～NPO/NGO/ソーシャルビジネス向けホームページ制作助成プログラム～」</p> <p>ワークショップ講師： 松岡秀紀氏（京都 CSR 推進協議会元事務局長、ヒューライツ大阪特任研究員、かんさいCS ネットワークフォーラム運営委員）</p>
--	---



「第3回かんさいCS ネットワークフォーラム」の様子

2016.6.21

SDGs をテーマとし『企業ができる世界への貢献 ～新しい協働・共創を考える～』と題した企業向けフォーラムを開催。

2. 国際協力に関する知識の普及、啓発活動

事業名（継続）	ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2016～								
担当	事務局/谷川・高橋、岡田・中島（2016 年度インターン）								
審査員協力	岩崎裕保氏（開発教育協会）、林田雅至氏（大阪大学教員）、大豊盛重氏（日本国際民間協力会）、石崎雄一郎氏（ウータン・森と生活を考える会）、栗山智帆氏（P782 プロジェクト）、榛木恵子（関西 NGO 協議会）								
実施日時	2016 年 12 月 23 日（金・祝） 10：00～17：00								
実施場所	大阪国際交流センター（アイハウス）								
受益対象者および人数	参加者総数 6,000 人（延べ）、参加高校 42 校 （参加高校生・教員約 900 人、関係者及び NGO 約 200 人）								
共催・協力	【共催】ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 運営委員会（高校教員、加盟 NGO 職員で構成）、公益財団法人 大阪国際交流センター（アイハウス） ※三者共同主催 【協力】ワン・ワールド・フェスティバル for Youth 高校生実行委員会 ＜構成高校＞大阪府立佐野高校、神戸龍谷高校、兵庫県立兵庫高校、立命館宇治高校、立命館守山高校								
実施内容	<p>①世界的な視野を持って、社会課題の解決に向け行動がとれる次世代の育成、 ②関西地域で、高校生を含めた国際協力分野に関わるセクターのネットワークの強化・連携の促進 を目的とし 2014 年度より実施、今年度は第 3 回である。運営委員会、大阪国際交流センター、関西 NGO 協議会の三者共同主催とし、事務局は関西 NGO 協議会が担当した。各企画は高校生実行委員会が主体となって作り上げた。さらに、高校生を中心にボランティアリーダーチームを立ち上げ、当日のボランティアコーディネーションを担う若い世代の育成も行った。</p> <p>本年度は参加者総数・参加高校数も増加、学校外で主体的に活動する高校生団体の参加もあり、徐々に認知度が上がっている。また、過去に本事業に参加した生徒が、卒業後に大学の国際協力サークルや NGO スタディツアーに参加するなど、参加者が継続して国際協力分野に関わる事例もみられた。今後の国際協力分野の発展のためには、国際的な視野を持ち、市民セクターの活動を理解する若い世代の育成が欠かせない。また、ODA 実施機関、国際機関、地方自治体、企業、高校・大学などの教育機関との連携・協働は今後、益々重要となることから、2017 年度も継続して開催する。</p> <p>【事業の概要】</p> <table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td>『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2016～』</td> </tr> <tr> <td>テーマ</td> <td>“見方が変わる！世界も変えちゃう！”</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画のワークショップ、高校生世界一周バックパッカーによる講演、企業・NGO による高校生向け企画、ウガンダ親善大使「カズン」トークショー、高校生活動報告会、民族音楽と民族舞踊、国際協力大学生エッセイコンテスト、カフェ・ワンワールドなど</td> </tr> <tr> <td>後 援</td> <td>外務省、JICA 関西、大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会、滋賀県教育委員会、滋賀県私立中学高等学校連合会、京都府教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、兵庫県教育委員会、兵庫県私立中学高等学校連合会、奈良県教育委員会、奈良県私立中学高等学校連合会、和歌山県教育</td> </tr> </table>	名 称	『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2016～』	テーマ	“見方が変わる！世界も変えちゃう！”	内 容	ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画のワークショップ、高校生世界一周バックパッカーによる講演、企業・NGO による高校生向け企画、ウガンダ親善大使「カズン」トークショー、高校生活動報告会、民族音楽と民族舞踊、国際協力大学生エッセイコンテスト、カフェ・ワンワールドなど	後 援	外務省、JICA 関西、大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会、滋賀県教育委員会、滋賀県私立中学高等学校連合会、京都府教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、兵庫県教育委員会、兵庫県私立中学高等学校連合会、奈良県教育委員会、奈良県私立中学高等学校連合会、和歌山県教育
名 称	『ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ～高校生のための国際交流・国際協力 EXPO 2016～』								
テーマ	“見方が変わる！世界も変えちゃう！”								
内 容	ブース出展、ポスターセッション、高校生国際協力助成プログラム、高校生企画のワークショップ、高校生世界一周バックパッカーによる講演、企業・NGO による高校生向け企画、ウガンダ親善大使「カズン」トークショー、高校生活動報告会、民族音楽と民族舞踊、国際協力大学生エッセイコンテスト、カフェ・ワンワールドなど								
後 援	外務省、JICA 関西、大阪市教育委員会、大阪府教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会、滋賀県教育委員会、滋賀県私立中学高等学校連合会、京都府教育委員会、京都府私立中学高等学校連合会、兵庫県教育委員会、兵庫県私立中学高等学校連合会、奈良県教育委員会、奈良県私立中学高等学校連合会、和歌山県教育								

		委員会、和歌山県私立中学高等学校協会
	協賛	ジブラルタ生命保険株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ロート製薬株式会社、(動画上映用機材協力：大阪商工信用金庫)

事業名(新規・終了)	スマホからいのちの大切さを考える～「スマホの真実」を大阪で観る～
担当	事務局/高橋
実施日時	2016年9月27日(火) 18:30~20:40
実施場所	大阪市立大学 文化交流センター ホール (大阪駅前第2ビル6階)
受益対象者および人数	高校生、高校教員、大学生、社会人、シニア層を含む34名
共催	特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター 大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野 一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)
実施内容	世界中から多くの部品や素材を集めて作られる“スマホ”には、「紛争鉱物」と呼ばれる希少鉱物も含まれ、スマホに使われる希少鉱物の採掘現場では、児童労働を含む過酷な労働や鉱山利権をめぐる紛争、そして深刻な環境破壊の実態がある。紛争鉱物の産地となっているコンゴ民主共和国にて活動を行っているNGOの視点から、紛争鉱物をはじめとしたさまざまな背景によって紛争に巻き込まれている現地の方々の現状を聞き、私たちの日常と世界の現実との関係を考えるセミナーを開催。 【概要】 映画上映：「スマホの真実—紛争鉱物と環境破壊とのつながり」 講演： 「コンゴ民主共和国と採掘取引の現状」 —田中滋氏(特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター事務局長) 「わすれられた紛争～元子ども兵、紛争被害者支援の現場から～」 —栗田佳典氏 (特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス 啓発チームマネージャー)

事業名(継続)	スタディツアー合同説明会
担当	事務局/谷川・榛木
実施日時	夏期 第14回 6月18日(土) / 秋期 第15回 11月19日(土)
実施場所	龍谷大学大阪梅田キャンパス/キャンパスプラザ京都
受益対象者および人数	スタディツアーやワークキャンプに関心のある学生、社会人、シニア層
共催・協力	【共催】株式会社マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
実施内容	NGOが開催するスタディツアーやワークキャンプに関心のある市民を対象に複数のNGOが合同でスタディツアーやワークキャンプの情報を提供した。龍谷大学ボランティア・NPO活動センター、(株)マイチケットと、KNCとの共催事業であるが、知名度もあり、多くの来場者が見込める事業であるため、2017年度以降のKNCのかかわりは、NGO相談員ブース出展・広報業務を担う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・第 14 回スタディツアー合同説明会 来場者数 81 名／参加 NGO13 団体 ・第 15 回スタディツアー合同説明会 来場者数 41 名／参加 NGO14 団体 ・外務省委託 NGO 相談員出張サービス <p>PHD 協会、関西 NGO 協議会が国際協力やキャリア等の質問や相談対応に応じた</p>
--	--

事業名（継続）	講演、講座、講師紹介		
担当	事務局/榛木		
実施内容	大学や他セクターからの依頼で、国際協力 NGO の活動や国際協力の潮流について、国外・国内の事例を併せ広く学生、社会人に周知する講座の講師、加盟団体への講師紹介。		
	講演・講義依頼（主なもの）	講義名	受講者人数
	龍谷大学 2016年9月～2017年3月 （後期、全 15 回）	『国際 NGO 論』 ※NGO ユニット型講座	龍谷大学経済学部、法学部の学生 40 名

事業名（新規・終了）	ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ウェブサイトリニューアル		
担当	事務局/谷川		
共催・協力	リタワークス株式会社（※NPO 向け助成プログラムの一環として）		
実施内容	リタワークス（株）の実施する NPO/NGO 対象ホームページ制作助成プログラム「SOCIALSHIP」の助成を受け、「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」のウェブサイトのリニューアルを実施した。ブログ形式で必要な情報へアクセスしづらかった以前のサイトを一新。情報をカテゴリごとに分けて表示し、写真を多く使用することで必要な情報にすぐにアクセスでき、イベントの様子や社会的意義が伝わるサイトとなった。今後、新サイトを活用し、プログラム応募などにかかる事務局業務の効率化を図ると共に、企業や参加高校教員、団体担当者、高校生への情報発信を強化する。		

事業名（終了）	「かんさい NGO ガイドブック」の発行		
担当	事務局/谷川・高橋		
受益対象者および人数	当会加盟団体（34 団体）の活動内容・ボランティア募集等の情報を掲載。相談対応や高校・大学での講演の際に配布・販売		
共催・協力	デザイン：畑佐実氏		
実施内容	2012 年発行の『関西 NGO ガイドブック 2012-2013』の情報を更新し、本年度は『簡易版』（12 頁、4000 部、2 月発行）と『詳細版』（78 頁、2000 部、3 月発行）の 2 種を作成した。簡易版は関西で活動する NGO 一覧として広く配布、詳細版には加盟団体の活動詳細を掲載し、地域 NGO の情報を希望する相談者等に配布・販売した。		

事業名	第 30 期関西 NGO 大学
担当	関西 NGO 大学運営委員会
実施日時	①2016 年 11 月 19 日 ②2017 年 2 月 25 日～26 日
実施場所	①大阪聖パウロ教会 2 階 ②小林聖心女子学院ロザリオ・ヒル
受益対象者および人数	国際理解・国際協力や NGO、開発教育に関心のある方が参加 第 1 回：26 人 第 2 回：31 人
実施内容	<p>30 期を迎えるにあたり、この 30 年を振り返り、今後の展望を考える講座を企画・実施した。</p> <p>第 1 回 『いま、NGO を問う ～国際協力 NGO のこれまでとこれから～』 2016 年 11 月 19 日（土）13：30～16：30 於：聖パウロ教会 2 階 【発題者】 ・谷山博史氏（日本国際ボランティアセンター（JVC）代表理事・国際協力 NGO センター（JANIC）代表理事） ・清家弘久氏（日本国際飢餓対策機構常務理事・関西 NGO 協議会理事）</p> <p>第 2 回 『市民による学びの場』の来し方 行く末～関西 NGO 大学リユニオン～』 2017 年 2 月 25 日（土）19:00 ～ 26 日（日）15:00 於：小林聖心女子学院ロザリオヒル 【発題者】 ・神田浩史氏（AM ネット理事、泉京・垂井副代表理事） ・荒川共生氏（ボルネオ保全トラスト・ジャパン理事。）</p> <p>～2017 年度の関西 NGO 大学について～ 30 年間の実績をもとに、これまで NGO 大学に参加したり関わりのあった人を訪ねる「旅する N 大」を企画。また、「N 大 Bar」など、参加のハードルを下げテーマを決めて語り合う場を設定する。NGO 協議会の若手スタッフに発題者となってもらい土曜日の午後、聖パウロ教会で気軽に参加できる講座の方向性も考えていく予定。</p>

ワン・ワールド・フェスティバル for Youth

高校生のための国際交流・国際協力 EXPO2016 の風景 2016.12.23

ポスターセッション会場で、他校の生徒にプレゼンテーションをする高校生の様子（左下）
高校生に国際協力や災害支援などの取り組みについて説明する NGO の職員に熱心に耳を傾ける
高校生ボランティアグループ・WITH のメンバー（右下）



3. 国際協力を促進するための提言活動

事業名 (継続)	提言専門委員会開催、各協議会の参加、JICA 基金の運営及び審査
担当	理事会・監事 担当理事：加藤良太（担当理事・ODA 政策協議会コーディネーター） 坂西卓郎（理事・NGO・JICA 協議会コーディネーター）、濱西栄司（提言専門委員会外部アドバイザー、JICA 基金運営委員） 事務局/高橋
事業目的と内容	NGO と ODA 関連機関との対話の場への参加、コーディネーターを派遣、加盟団体にフィードバックする。 ■NGO・外務省定期協議会（ODA 政策協議会（年3回）、連携推進委員会（年3回）、全体会（年1回）） ■NGO・JICA 協議会（年4回） NGO・JICA 協議会関連の NGO 連携支援事務局支援業務担当 ■JICA 基金運営委員（JICA 基金運営方針の決定及び申請書の審査業務）
実施場所	主に東京の外務省、JICA 施設で開催。地方開催として、今年度は福岡（NGO・外務省定期協議会）、金沢（NGO・JICA 協議会）で開催。
受益対象者および人数	・ODA に関心のある市民、NGO、ODA が実施されている国の市民 ・外務省及び JICA の支援スキームを活用している NGO、あるいは今後活用を予定している中小規模、新しい NGO
実施内容	<p>（1）提言専門委員会の開催、JICA 基金の運営及び審査</p> <p>本年度は提言専門委員会を組織し活動できる十分な数の委員を委嘱できるめどが立たないため、委員会を休会とし、理事会が事務局のサポートのもとに直接提言活動を担う体制を取りつつ、今後の当会の提言活動のあり方・体制などを見直す一年と位置付けて活動した。</p> <p>一方、JICA 基金運営委員の任にある濱西栄司氏（個人準会員）には、前年度に引き続き、提言専門委員会外部アドバイザーをお願いし、理事会・事務局と連携を取りながら任に当たっていただいた。2017 年 3 月、濱西氏は任期満了に伴い退任。</p> <p>（2）各協議会の参加</p> <p>NGO・外務省定期協議会、NGO・JICA 協議会に委員・コーディネーターを派遣するとともに、以下の会議に出席して議事に加わり、その内容を加盟団体にフィードバックした。</p> <p>ただし、本年度については、NGO・外務省定期協議会「連携推進委員会」の委員派遣および出席ができなかったため、NGO 側の事務局（JANIC）から情報提供を受けることで会議内容のフォローアップを行った。</p> <p>■NGO - 外務省定期協議会 □全体会議 日程：2016年6月14日（火）14：00～16：00 会場：外務省 8 階南 893 国際会議室 参加：柏木宏、加藤良太、高橋美和子 主な議題：①G7 伊勢志摩サミットの結果と市民社会の活動について、②SDGs 推進本部の発足、③2015 年度 NGO・外務省定期協議会の成果と課題 議事録：外務省 ODA（政府開発援助）ホームページ http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000182.html</p>

□ODA 政策協議会

担当：加藤良太（理事）

名称	日程	会場
第 1 回協議会	2016年7月28日(木)	外務省 8 階南 893 国際大会議室
第 2 回協議会	2016年12月1日(木)	外務省 8 階南 893 国際大会議室
第 3 回協議会	2017年2月23日(木)	福岡 リファレンス駅東ビル 会議室D

主な議題：①特定秘密の指定における ODA 関連情報等の取扱いについて、②2016 年度開発協力重点方針および 2017 年度 ODA 予算について、③SDGs の ODA 政策への反映、実施指針、諸課題や地域での具体的な実施について

議事録：外務省 ODA（政府開発援助）ホームページ

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/shimin/page22_000182.html

■NGO - JICA 協議会

担当：坂西卓郎（理事）

名称	日程	会場
第 1 回協議会	2016年6月24日(金)	JICA 本部 228/229 会議室
第 2 回協議会	2016年9月5日(月)	TKP 金沢カンファレンスセンター
第 3 回協議会	2016年12月15日(木)	JICA 本部 228/229 会議室
第 4 回協議会	2017年3月16日(木)	JICA 本部 228/229 会議室

※本会場と国内拠点、在外事務所を JICA-Net で会議接続を実施している。

主な議題：①SDGs について、②ODA 本体業務における NGO-JICA の連携化促進について、③開発教育推進のための協働について、④国際協力活動を通じた地方創生／地域活性化について

議事録：独立行政法人 国際協力機構

http://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/

■JICA 基金運営委員会

担当：濱西栄司（提言専門委員会政策外部アドバイザー）

「世界の人びとのための JICA 基金（JICA 基金）」では、過去の NGO-JICA 協議会における協議結果を踏まえ、NGO の知見を JICA 基金の運営に活かすべく、2015 年度以降は運営委員のうち 2 名はネットワーク型 NGO からの参加としている。

JICA 基金運営委員会

2016年5月9日（金）14：00～16：00

2017年3月10日（金）10時00～12：30

開催場所：独立行政法人 国際協力機構 本部 109 会議室

（東京都千代田区二番町 5-25 二番町センタービル）

*参考 URL

世界の人びとのための JICA 基金：

<https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/O1.html>

世界の人びとのための JICA 基金活用事業：

<https://www.jica.go.jp/partner/private/kifu/O9.html>

事業名（継続）	声明文及び意見書の発信、賛同
担当	理事会・監事（担当理事：柏木、加藤） 事務局/高橋
実施内容	<p>○「国際協力事業安全対策会議」中間報告へのコメント」（2016年8月17日、NGO安全管理イニシアチブ（JaNISS）準備会参加NGO）への賛同</p> <p>○「南スーダン等支援現場への渡航制限による人道支援の空洞化とその改善への要望」（2017年4月26日、NGO安全管理イニシアチブ（JaNISS）他）の要望団体への参加 ※2017年度事業</p> <p>その他、以下の活動に参加した。</p> <p>○「NGO安全管理イニシアチブ（JaNISS）」協力団体への加盟（新規）</p> <p>○「秘密保護法NGOアクションネットワーク（NANSL）」構成団体への加盟（継続）と共同代表（柏木宏（代表理事））、世話人（加藤良太（理事））の派遣。</p> <p>○「NGO非戦ネット」への加盟（継続）</p>

4. NGO 活動に関する相談・支援活動

事業名（継続）	国際協力や NGO に関する相談対応 相談員出張相談サービス（講演、ブース出展など）
	事務局：高橋、古寺、榛木、谷川
実施日時	随時
実施場所	関西 NGO 協議会事務所、諸会合、講演・セミナー会場、研修など
受益対象者および人数	国際協力に関心のある個人、団体
実施内容	<p>当会に寄せられた国際協力、NGO 活動に関する相談、国際協力に関する講演やイベントでのブース出展依頼に対応した。中間組織や業界団体とのネットワーク、NGO と一般市民との連携や協力関係づくりも意識して取り組み、講演の依頼、連携事業の相談などの増加がみられた。とくに、教育関係者からの講演依頼が増え、対応できる相談員の育成が急がれる。</p> <p>2016 年 4 月～2017 年 3 月までの相談件数は、626 件、相談者数は 403 名であった。出張相談サービスは 20 件実施し、そのうち 11 件が大学及び高等学校からの講演依頼であった。</p> <p>近畿ブロック相談員ミーティング（2 回）、国際協力推進員×NGO 相談員会議（1 回）の開催、全国相談員連絡会議（2 回）に参加した。</p>

事業名（継続）	関西地域 NGO 助成プログラム	
担当	事務局/榛木	
共催	宗教法人 真如苑	
最終審査 （公開プレゼン）	日時：2016 年 7 月 10 日（土）13:00～16:30 アプロースタワー 13 階会議室 14 号 参加団体：8 団体	
助成期間	2016 年 8 月 1 日～2017 年 3 月 31 日	
テーマ	組織強化につながる人材育成	
助成総額	120 万円（4～5 団体）	
助成の対象	関西地域で活動する小・中規模の NGO 団体	
審査委員会	委員長：新田和宏氏（近畿大学教授） 委員：高橋真央氏（甲南女子大学教授）、増田まゆ氏（国際経済労働研究所）、 島田英樹氏（真如苑社会交流部） 協力：河合将生氏（office musubime 代表）	
採択団体	（特活）フェア・プラス ウータン・森と生活を考える会 （特活）ペイ・フォワード倶楽部 学生団体 Infinite Connection	アバカ・フェアトレード商品開発を通じた、 日比両国の次世代育成プログラム ベテランに学ぶ！ ボルネオの森を守るための情報収集と分析力 専門家指導を受け次世代のリーダー育成を する事業 ※条件付助成 PCM 研修会 ※条件付助成

事業名（新規）	第24回ワン・ワールド・フェスティバル ブース出展 ①NGO 相談員ブース ②ワンフェス for Youthブース
担当	事務局/高橋・谷川・榛木
実施日時	2017年2月4・5日（土・日）10:00~17:00
実施場所	カンテレ扇町スクエア 1F 玄関前フロア（大阪市北区扇町）
共同出展	①NGO 相談員ブース （特活）日本国際ボランティアセンター（JVC）、（特活）アイキャン（ICAN） （特活）AMDA 社会開発機構、（公財）PHD 協会、（公社）日本国際民間協力会 NICCO ②ワンフェス for Youth ブース ワン・ワールド・フェスティバル for Youth ボランティアリーダーチーム
受益対象者および参加人数	①NGO 相談員ブース：NGO 職員、学生、教員を含む 82 名 ②ワンフェス for Youth：高校生、高校教員を中心に 45 名
実施内容	①西日本最大の国際協カイベントであるワン・ワールド・フェスティバルにて、会場となったカンテレスクエア正面玄関フロアに「NGO 相談員ブース」を設営。全国の NGO 相談員でシフトを組み、開場時間を通して常時 2~3 人体制で、国際協力や ODA、NGO に関する質問・相談に対応した。また、ブース付近を通行する不特定多数の来場者、北区民センターで出展する NGO ブースには、NGO 相談員や外務省プログラムのチラシを配布し、相談員制度の広報、制度活用の普及に努めるとともに、プログラム参加を促した。 ②ワン・ワールド・フェスティバル事務局を務める（特活）関西国際交流団体協議会と連携し、ワンフェス for Youth のブースを出展。高校生ボランティアリーダーとしてワンフェス for Youth に参加した高校生たちと、高校生主体のワンワールドフェスティバルの周知に努めた。

事業名（新規）	「ひょうご・こうべワールド・ミーツ for YOUTH」ブース出展
担当	事務局/高橋・谷川
実施日時	2017年2月11日（土）9:30~16:00
実施場所	神戸国際展示場 2 号館（兵庫県神戸市中央区港島）
主催者	G7 神戸保険大臣会合推進協議会事務局 主催 WHO 保健開発総合研究センター、G7 神戸保険大臣会合推進協議会 共催 大阪大学、兵庫県教育委員会
受益対象者および参加人数	兵庫県下の高校生約 400 名、高校教員 30 名
実施内容	関西地域の NGO へ参加を呼びかけ、ミニ講演会の調整を行った。また、KNC は「NGO 相談員ブース」を出展し、兵庫県下の高校生を中心とする来場者の個別相談に応じ、国際協力に関する情報を提供した。参加を呼び掛けた各 NGO のブースにも熱心に話を聞く高校生の姿が見られた。ミニ講演会を開催し、企業、大学、大使館関係者とともに NGO の枠も作り、NGO 側からは、3 団体が講演を実施。KNC が NGO 相談員ブースで対応した相談者数は 15 人（グループ含む）件数は 20 件であった。

事業名（継続）	第21・22回セーフ・トラベル・セミナー
担当	事務局/榛木
実施日時	大阪：2017年4月25日（火）10:00~17:00 東京：2017年4月27日（木）10:00~17:00
実施場所	大阪：龍谷大学大阪梅田キャンパス研修室/東京：JICA 地球ひろば会議室

協働先	(株)マイチケット、龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター、 (特活)シャプラニールニ市民による海外協力の会 (東京)
受益対象者および参加人数	スタディツアーを企画・実施している NGO スタッフ、高校・大学のスタッフ、 教員など 15名 (大阪)、28名 (東京)
	<p>第1部：感染症・旅行保険・旅行業法の基礎知識 第2部：「テロ」への対応について、現地情報の収集、参加者や家族への説明、 ツアー中止の基準、旅行保険の適応範囲など、事例をあげて判断のポイントと課題を整理</p> <p>講師＜大阪・東京会場共通＞ 榎戸健次郎 氏 (公社)日本キリスト教海外医療協力会 元ネパール派遣医師、家庭医 副島大典 氏 AIU 損害保険株式会社、山田和生 氏 (株)マイチケット 旅行代理店</p>



「ひょうご・こうべワールド・ミーツ for YOUTH」ブース出展の風景

2017.2.11

関西地域の NGO の活動に関心を持つ高校生たちに、国際協力や NGO の活動を紹介する職員。日本海側の地域や淡路島など、国際協カイベントに参加する機会が少ない高校が多く訪れた。生徒にとっても貴重な機会となり、生徒が熱心に耳を傾けた。

5. NGO 活動に関する人材育成事業

事業名（新規）	高校生国際協力・多文化共生リーダー育成プロジェクト																											
担当	事務局/谷川																											
実施日時・実施場所	日程:下記表を参照 場所:関西NGO協議会、大阪国際交流センター、大阪YMCA																											
受益対象者・人数	関西地域の高校に通う高校生：13名、大学生・社会人：7名																											
共催・協力	【研修講師】（一社）ソーシャルギルド 山本佳史氏・江熊遊斗氏																											
実施内容	<p>当会が「ワン・ワールド・フェスティバル for Youth」を関西地域の高校教員・高校生・NGO と協働し開催するなか、課題として「社会課題の解決や市民活動への関心を持って積極的に活動し、ボランティアリーダーの役割を担うことができる若い世代の育成」の必要性を認識。本研修を通じて、ボランティアが単発で終わらずに、様々な団体と関わり、継続的にボランティア活動に参加する若者を増やし、若者の社会貢献活動への参画を促進した。</p> <p>【開催日程・研修内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>研修内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月18日（日）</td> <td>メンバー顔合わせ、ボランティアについてのお話</td> </tr> <tr> <td>10月8日（土）</td> <td>ボランティア・マネジメントについて・ボランティア体験</td> </tr> <tr> <td>10月23日（日）</td> <td>チームビルディングについて</td> </tr> <tr> <td>11月6日（日）</td> <td>イベントを運営の役割分担、リスク管理など</td> </tr> <tr> <td>11月20日（日）</td> <td>ボランティア募集説明会開催準備、ディスカッション</td> </tr> <tr> <td>12月18日（日）</td> <td>当日の運営イメージの共有、主体的に動くためのワーク</td> </tr> <tr> <td>12月22日（木）</td> <td>前日準備。段取り確認、会場配置確認など</td> </tr> <tr> <td>12月23日（祝）</td> <td>当日運営。当日ボランティアのマネジメント</td> </tr> <tr> <td>1月29日（日）</td> <td>イベントでのボランティアリーダー活動振り返り</td> </tr> <tr> <td>2月4日（土）・5日（日）</td> <td>「ワン・ワールド・フェスティバル」にてユース事業のブース運営</td> </tr> <tr> <td>2月26日（日）</td> <td>（公財）大阪YMCA 訪問。団体の活動に関する講演 SDGsのカードゲームワークショップ開催</td> </tr> <tr> <td>3月19日（日）</td> <td>NGO 神戸外国人救援ネット村西氏より自身のキャリアと団体の活動に関する講演、助成事業全体の振り返り</td> </tr> </tbody> </table> <p>※大阪市ボランティア活動振興基金「高校生等若者による国際協力・多文化共生ボランティアチーム創設プロジェクト」 ※子どもゆめ基金「社会人ボランティアとの協働による国際協力・多文化共生リーダー育成プロジェクト」</p>		日程	研修内容	9月18日（日）	メンバー顔合わせ、ボランティアについてのお話	10月8日（土）	ボランティア・マネジメントについて・ボランティア体験	10月23日（日）	チームビルディングについて	11月6日（日）	イベントを運営の役割分担、リスク管理など	11月20日（日）	ボランティア募集説明会開催準備、ディスカッション	12月18日（日）	当日の運営イメージの共有、主体的に動くためのワーク	12月22日（木）	前日準備。段取り確認、会場配置確認など	12月23日（祝）	当日運営。当日ボランティアのマネジメント	1月29日（日）	イベントでのボランティアリーダー活動振り返り	2月4日（土）・5日（日）	「ワン・ワールド・フェスティバル」にてユース事業のブース運営	2月26日（日）	（公財）大阪YMCA 訪問。団体の活動に関する講演 SDGsのカードゲームワークショップ開催	3月19日（日）	NGO 神戸外国人救援ネット村西氏より自身のキャリアと団体の活動に関する講演、助成事業全体の振り返り
	日程	研修内容																										
	9月18日（日）	メンバー顔合わせ、ボランティアについてのお話																										
	10月8日（土）	ボランティア・マネジメントについて・ボランティア体験																										
	10月23日（日）	チームビルディングについて																										
	11月6日（日）	イベントを運営の役割分担、リスク管理など																										
	11月20日（日）	ボランティア募集説明会開催準備、ディスカッション																										
	12月18日（日）	当日の運営イメージの共有、主体的に動くためのワーク																										
	12月22日（木）	前日準備。段取り確認、会場配置確認など																										
	12月23日（祝）	当日運営。当日ボランティアのマネジメント																										
	1月29日（日）	イベントでのボランティアリーダー活動振り返り																										
	2月4日（土）・5日（日）	「ワン・ワールド・フェスティバル」にてユース事業のブース運営																										
	2月26日（日）	（公財）大阪YMCA 訪問。団体の活動に関する講演 SDGsのカードゲームワークショップ開催																										
3月19日（日）	NGO 神戸外国人救援ネット村西氏より自身のキャリアと団体の活動に関する講演、助成事業全体の振り返り																											

事業名（継続/終了）	紛争解決と共生社会づくりのための実践的参加型コミュニティ開発研修コース 【受託事業】	
担当	事務局/古寺、西原	
実施日時	2016年10月14日（金）～2016年11月25日（金） / 43日間	
実施場所	JICA 関西国際センター、広島、大阪、東京、東日本大震災被災地（フィールドワークあり）	
協働先	JICA 関西国際センター	
受益対象者	割当国の紛争解決と共生社会づくりに携わる NGO スタッフ及び行政官	
運営委員会	<p>中田豊一氏（認定NPO法人ムラのミライ）、三輪敦子氏（世界人権問題研究センター）、坂西卓郎氏（公益財団法人PHD協会）、高見邦雄氏（認定NPO法人緑の地球ネットワーク）、本間穰氏（国際協力機構関西国際センター）</p> <p>【運営委員会（選考会・反省会）の開催】 第1回：2016年9月2日（金）11:00～12:00 （於：JICA 関西会議室）</p>	

	第2回：2017年1月11日（木）15：00～16：00 （於：JICA 関西会議室）
研修参加者	ブルンジ、イラク、フィリピン、南スーダン（2）、スリランカ、スーダン（2）、ウガンダ（2）、ザンビア（2）から、8カ国、12名が参加。構成は、女性4名・男性8名、NGO職員3名・行政職員9名。
実施内容	<p>コース全体を下記4つのモジュールに分け、テーマに沿ったケーススタディやフィールドワークを通して、参加者それぞれが有する課題解決につなげた。</p> <p><u>Module 1：What is community development?</u> ①日本の近代化プロセスと、②途上国における自給自足経済から市場経済への移行期における生活の変化を例に、マクロな社会変化が地域コミュニティに及ぼす影響を分析した。</p> <p><u>Module 2：Outsider’s role in community development</u> 広島や釜ヶ崎を訪問して日本における平和構築やコミュニティ開発の過程について学んだ。またその過程における課題解決に対して外部者のとる役割やジェンダー配慮、コミュニケーションスキルについて、ファシリテーターの豊富な実践経験に基づく講義と参加型のワークショップで学んだ。ジェンダーの基本的概念やジェンダーを意識しながらコミュニティのニーズを分析することの重要性を学んだ。</p> <p><u>Module 3：Diversity-based conflict resolution and linkage method with a wide variety of stake-holders</u> JICA 国際協力専門員から JICA の平和構築とコミュニティ開発における支援について講義を通して学んだ。またプロジェクト実施については①多様性にもとづいたコミュニティ開発によるパートナーシップの構築、②コミュニティをベースとした課題分析、③アクションプランとし、それぞれの段階での有効なファシリテーション手法が挙げられる。</p> <p><u>Module 4：Reflection and Making Your Own Action Plan</u> アクションプランは行動に起こす前の決定（Action plan is decision before action）であること、実行するためには時間（期限）や場所にもとづき一連の流れを組み立てること、優先順位をつけることなどが共有され、各参加者から実践的なアクションプランが発表された。</p> <p>オープンセッションの開催（11月19日） 一般市民と研修参加者らが対話により学び合う、「オープンセッション」を昨年同様開催しNGO関係者、教育関係者、海外ボランティア経験者、学生や外国人留学生等、46名の一般市民が参加した。グループに分かれたグループディスカッションでは、各グループ内で、主に「若者」「ジェンダー」「復興活動」について大変活発な議論が行われた。</p>

事業名（継続）	インターン受け入れ
インターン	岡田邦彦（大阪大学大学院1年生） 能任花林（同志社大学2年生） 中島聡子（関西大学3年生）
実施内容	リサーチ及び広報インターンとして、関西地域の指定管理施設の現状と課題を調査し、提言を行った。また、広報インターンは、ワン・ワールド・フェスティバル for Youth の高校生実行員会オリエンテーションのアイスブレイク及びワークショップを担当。

事業名（継続）	第3回インターン研修会
担当	事務局/高橋・谷川
実施日	2016年7月30日（日）13:00~18:00
研修会場	関西 NGO 協議会事務所横研修室（大阪聖パウロ教会 4F）
実施内容	<p>2016年7月30日に「NGO インターン活動報告会・研修会」を開催し、2016年度にNGO でインターン活動を行ったインターン修了生と2016年度のインターンが参加した。</p> <p>1) 「NGO・NPO 概論」 / 谷川</p> <p>2) 「NGO/NPO 法人の持続可能な組織運営～会計の側面から～」 / 古寺</p> <p>3) 「インターン修了生による活動事例報告」 ～わからないことは、講師や元インターン生になんでも聞いてみよう！～ 報告者：李銀珠（2015年度インターン修了生）</p> <p>4) 「基本のきほん、ビジネスマナー研修」 ～名刺の渡し方、電話の対応、メールの書き方、大丈夫ですか？～ / 高橋</p>
受益対象者	2015年度インターン修了生、2016年度インターン生、大阪府立狭山高等学校教員



高校生国際協力・多文化共生リーダー育成プロジェクト

2017.1.29

半年間に及んだボランティアリーダー研修の終盤、振り返りミーティングに参加し、プロジェクトの評価と自己採点を行う高校生たち。

6. 組織、事務局

管理業務	2016 年度理事会の開催																															
理事	代表理事： 柏木宏 大阪市立大学教授 副代表理事： 熱田典子 (公社) アジア協会アジア友の会 理事： 坂西卓郎 (公財) PHD 協会 栗田佳典 認定 NPO 法人 テラ・ルネッサンス 清家弘久 (一財) 日本国際飢餓対策機構 加藤良太 OIKOLABO 代表 平岩久里子 池坊短期大学教員 村尾佳子 グロービス経営大学院大阪校教員 榛木恵子 (特活) 関西 NGO 協議会 高橋美和子 (特活) 関西 NGO 協議会 ※事務局長代行/職責理事																															
監事	武田かおり (特活) AM ネット 岩崎裕保 (特活) 開発教育協会/DEAR																															
実施内容	【実施日】会場：大阪聖パウロ教会 4 階 事務所横研修室																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>日程</th> <th>議題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回</td> <td>2016 年 5 月 11 日 (水) 18:00~21:00</td> <td>①理事選挙 ②2015 活動報告・決算報告、2016 活動計画・ 予算 ④定期総会プログラム</td> </tr> <tr> <td>第 2 回</td> <td>5 月 22 日 (土) 15:15~16:30</td> <td>①代表、副代表理事の決定と承認 ②常任理事会規定の承認、役員の業務分担 ③役員交通費及び謝金規定</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>7 月 6 日 (水) 18:00~20:55</td> <td>①常任理事会規定の作成 ②外務省定期協議会、環境整備事業予算削減 ③新規職員の雇用</td> </tr> <tr> <td>第 4 回</td> <td>9 月 8 日 (水) 18:00~20:27</td> <td>①JICA 事業委託契約公示取消、事務局人員体制 ②指定管理制度活用の検討と事業内容の見直し ③2017 年度ワンフェス forYouth 運営方針</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>11 月 2 日 (水) 18:00~20:15</td> <td>①各種声明・抗議文に対する賛同の方針 ②JaNISS 準備委員会 ③次期理事選挙 選挙管理委員会</td> </tr> <tr> <td>第 6 回</td> <td>12 月 7 日 (水) 18:00~20:30</td> <td>①次期理事会選挙及び選挙管理委員会 ② 2017 年度事業計画</td> </tr> <tr> <td>第 7 回</td> <td>2017 年 2 月 1 日 (水) 18:00~20:30</td> <td>①次期理事会選挙及び選挙管理委員会、推薦委 員の役割 ② 2017 年度事業計画、2017 年度予算 ③2017 年度事務局体制</td> </tr> <tr> <td>第 8 回</td> <td>3 月 14 日 (水) 18:00~21:00</td> <td>①次期理事会選挙及び選挙管理委員会進捗状況 ②2017 年度 N 外定期協議会連携推進委員推薦 ③2016 年度決算予想</td> </tr> <tr> <td>第 9 回</td> <td>4 月 26 日 (水) 18:00~20:30</td> <td>①第 16 回定期総会 ②ユース決算報告および次年度予算 ③連携推進委員選出</td> </tr> </tbody> </table>	回数	日程	議題	第 1 回	2016 年 5 月 11 日 (水) 18:00~21:00	①理事選挙 ②2015 活動報告・決算報告、2016 活動計画・ 予算 ④定期総会プログラム	第 2 回	5 月 22 日 (土) 15:15~16:30	①代表、副代表理事の決定と承認 ②常任理事会規定の承認、役員の業務分担 ③役員交通費及び謝金規定	第 3 回	7 月 6 日 (水) 18:00~20:55	①常任理事会規定の作成 ②外務省定期協議会、環境整備事業予算削減 ③新規職員の雇用	第 4 回	9 月 8 日 (水) 18:00~20:27	①JICA 事業委託契約公示取消、事務局人員体制 ②指定管理制度活用の検討と事業内容の見直し ③2017 年度ワンフェス forYouth 運営方針	第 5 回	11 月 2 日 (水) 18:00~20:15	①各種声明・抗議文に対する賛同の方針 ②JaNISS 準備委員会 ③次期理事選挙 選挙管理委員会	第 6 回	12 月 7 日 (水) 18:00~20:30	①次期理事会選挙及び選挙管理委員会 ② 2017 年度事業計画	第 7 回	2017 年 2 月 1 日 (水) 18:00~20:30	①次期理事会選挙及び選挙管理委員会、推薦委 員の役割 ② 2017 年度事業計画、2017 年度予算 ③2017 年度事務局体制	第 8 回	3 月 14 日 (水) 18:00~21:00	①次期理事会選挙及び選挙管理委員会進捗状況 ②2017 年度 N 外定期協議会連携推進委員推薦 ③2016 年度決算予想	第 9 回	4 月 26 日 (水) 18:00~20:30	①第 16 回定期総会 ②ユース決算報告および次年度予算 ③連携推進委員選出
	回数	日程	議題																													
	第 1 回	2016 年 5 月 11 日 (水) 18:00~21:00	①理事選挙 ②2015 活動報告・決算報告、2016 活動計画・ 予算 ④定期総会プログラム																													
	第 2 回	5 月 22 日 (土) 15:15~16:30	①代表、副代表理事の決定と承認 ②常任理事会規定の承認、役員の業務分担 ③役員交通費及び謝金規定																													
	第 3 回	7 月 6 日 (水) 18:00~20:55	①常任理事会規定の作成 ②外務省定期協議会、環境整備事業予算削減 ③新規職員の雇用																													
	第 4 回	9 月 8 日 (水) 18:00~20:27	①JICA 事業委託契約公示取消、事務局人員体制 ②指定管理制度活用の検討と事業内容の見直し ③2017 年度ワンフェス forYouth 運営方針																													
	第 5 回	11 月 2 日 (水) 18:00~20:15	①各種声明・抗議文に対する賛同の方針 ②JaNISS 準備委員会 ③次期理事選挙 選挙管理委員会																													
	第 6 回	12 月 7 日 (水) 18:00~20:30	①次期理事会選挙及び選挙管理委員会 ② 2017 年度事業計画																													
	第 7 回	2017 年 2 月 1 日 (水) 18:00~20:30	①次期理事会選挙及び選挙管理委員会、推薦委 員の役割 ② 2017 年度事業計画、2017 年度予算 ③2017 年度事務局体制																													
第 8 回	3 月 14 日 (水) 18:00~21:00	①次期理事会選挙及び選挙管理委員会進捗状況 ②2017 年度 N 外定期協議会連携推進委員推薦 ③2016 年度決算予想																														
第 9 回	4 月 26 日 (水) 18:00~20:30	①第 16 回定期総会 ②ユース決算報告および次年度予算 ③連携推進委員選出																														

	第10回	5月24日(水) 18:00~20:30	①2017年度事業計画 ②2016年度決算、2017年度予算 ③2017年度事務局体制、退職金積立
--	------	-------------------------	---

管理業務	2016年度常任理事会の開催
常任理事	柏木宏(代表理事)、熱田典子(副代表理事)、高橋美和子(事務局長代行)
実施日	【会場】大阪市立大学梅田サテライトキャンパス会議室 【実施日】6月1日(金)、7月15日(金)、8月29日(月) 10月31日(月)、12月6日(火)、1月25日(水)、3月13日(月)

管理業務	選挙管理委員会の開催と選挙の実施
委員	森脇祐一 認定NPO法人アクセス・共生社会をめざす地球市民の会 武田かおり (特活)AM ネット
目的	理事選挙の規約に基づいた選挙の施行及び開票作業、結果発表
実施内容	加盟団体及び会員への理事選挙の案内、立候補者の公示、投票用紙等の郵送返信理事立候補希望書と理事候補推薦書の確認 選挙投票用紙の受付と開票、結果発表 日時：2017年4月26日(水) 10:00~12:00 会場：大阪聖パウロ教会4階研修室

2016年度事務局体制	
事務局スタッフ	榛木恵子(関西地域助成プログラム担当) 古寺瑞代(会計・総務担当/PCD研修担当) 高橋美和子(事務局長代行、理事) 谷川詩織(広報・啓発事業担当) 西原礼子(PCD研修/会計・総務補助担当)
インターン	岡田邦彦(大阪大学大学院1年生) 能任花林(同志社大学2年生) 中島聡子(関西大学3年生)
ボランティア	中村順子 前山隆博 大村咲恵 大村さな 和田みのり 鳥飼卓 菟口修

2016年度ワンフェス for Youth 運営委員会	
運営委員長 監事	運営委員長 山田正人(大阪府立松原高校教員) 副運営委員長 杉浦真理(立命館宇治高校教員) 監事

	林田雅至（大阪大学教授） 坂西卓郎（公益財団法人 PHD 協会）
運営委員 （所属組織）	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪府立狭山高等学校 • 大阪府立堺東高等学校 • 大阪府立佐野高等学校 • 大阪府立北摂つばさ高等学校 • 大阪府立松原高等学校 • 兵庫県立国際高等学校 • 兵庫県立兵庫高等学校 • 神戸龍谷中学校高等学校 • 灘中学校・高等学校 • 立命館宇治中学校・高等学校 • 立命館守山中学校・高等学校 • 東アジア青少年歴史体験キャンプ • 大阪大学 CO デザインセンター • （一財）日本国際飢餓対策機構 • （公社）日本国際民間協力会 NICCO • （公社）日本キリスト教海外医療協力会 JOCS • （特活）テラ・ルネッサンス • （公財）PHD 協会 • （公財）大阪国際交流センター • （特活）関西 NGO 協議会 ※事務局
事務局	高橋美和子、谷川詩織

2016 年度ワンフェス for Youth 高校生実行委員会	
実行委員長 顧問	実行委員長： 山本実桜（立命館宇治高校） 副実行委員長： 長尾美保（大阪府立佐野高校） 吉岡真凜（立命館守山高校） 顧問：杉浦真理（立命館宇治高校教員）
実行委員 10 名 （所属高校）	<ul style="list-style-type: none"> • 大阪府立佐野高等学校 • 神戸龍谷中学校高等学校 • 兵庫県立兵庫高等学校 • 立命館宇治中学校・高等学校 • 立命館守山中学校・高等学校
事務局	谷川詩織

2016 年度紛争解決と共生社会づくりのための実践的参加型 コミュニティ開発研修運営委員会	
運営委員会	中田豊一（認定 NPO 法人ムラのミライ） 三輪敦子（世界人権問題研究センター） 坂西卓郎（公益財団法人 PHD 協会） 高見邦雄（認定 NPO 法人緑の地球ネットワー ク） 本間穰（国際協力機構関西国際センター）
事務局	古寺瑞代、西原礼子

2016 年度かんさい CS ネットワークフォーラム運営委員	
運営委員	柏木宏（大阪市立大学教授） 村尾佳子（グロービス経営大学院教授） 松岡秀紀（京都 CSR 推進協議会元事務局長、ヒューライツ大阪特任研究員）
インターン	岡田邦彦（大阪大学大学院 1 年生）
事務局	高橋美和子

2016 年度関西地域 NGO 助成プログラム審査委員会	
審査委員	新田和宏（近畿大学教授/個人会員） 高橋真央（甲南女子大学教授/準会員） 増田まゆ（国際経済労働研究所） 島田英樹（真如苑社会交流部/賛助会員）
協力	河合将生 （office musubime 代表/個人会員）
事務局	榛木恵子

以上